

2015年3月2日

～東急線沿線の安心・安全を向上させる「タウンセキュリティ構想」を本格始動～
2015年4月から、鉄道の高架下の防犯カメラに
「オンライン画像監視サービス」および「侵入検知サービス」を導入します。

東京急行電鉄株式会社
東急セキュリティ株式会社

東京急行電鉄株式会社(以下、東急電鉄)は、100パーセント子会社である東急セキュリティ株式会社(以下、東急セキュリティ)とともに、東急線沿線における街の安心・安全の向上を目的として「タウンセキュリティ構想」を推進しています。2015年4月からは、鉄道の高架下に設置を進めている防犯カメラに対して、東急セキュリティが提供するカメラ画像解析技術を活用した「オンライン画像監視サービス」および「侵入検知サービス」を順次導入します。鉄道施設への画像解析技術を活用したサービスの導入は、私鉄で初めてです。

東急電鉄と東急セキュリティは、これまで鉄道や商業施設を中心に、防犯カメラの設置や警備員の配置を行ってきました。2014年4月には東急セキュリティが画像監視センターを開設し、「オンライン画像監視サービス」の提供を開始しました。画像監視センターでは、東急グループ各施設の防犯カメラを一元管理することで、異常発生時の迅速な対応(警備員の出動対応や警察への捜査協力など)と防犯カメラメンテナンスの効率化を推進しています。

2015年2月からは、鉄道の高架下に防犯カメラの設置を進めており、2015年4月から東急線全線(高架橋がない世田谷線、こどもの国線を除く)90台の防犯カメラに「オンライン画像監視サービス」および「侵入検知サービス」を導入し、侵入を制限している一部の高架下の警戒レベルを高めます。

東急電鉄と東急セキュリティは、今後、鉄道施設をはじめとする東急グループ各施設やその他沿線施設に「オンライン画像監視サービス」を展開していく予定です。また、新たな画像解析技術を順次導入し、さらなる防犯カメラの高度化を進めます。「オンライン画像監視サービス」の導入により、従来の人のみ、機械のみによる警備から、機械と人の長所を組み合わせた高度な警備ネットワークを実現し、東急線沿線内の安心・安全の向上を図り、「東急沿線が選ばれる沿線であり続ける」ために寄与します。

「タウンセキュリティ構想」、「オンライン画像監視サービス」、「侵入検知サービス」の詳細は別紙の通りです。

以上

【別紙】

「タウンセキュリティ構想」とは

東急線の鉄道施設や周辺の商業施設に設置されている防犯カメラや、東急セキュリティが提供するサービスをネットワーク化し、面的な警備体制を構築することにより沿線価値の向上を図る構想。2014年に開始し、これまでに画像監視センターの増設・機能強化や、監視・対応メニューの追加などを行っている。



「オンライン画像監視サービス」概要

各施設等に設置された防犯カメラの映像を、ネットワークを経由して画像監視センターに送り、遠隔監視するサービスです。最大10,000台のカメラを集中監視することができるだけでなく、大容量画像の集中記録や保管ができ、効率的な画像監視・管理が可能です。

「侵入検知サービス」概要

カメラに搭載された侵入検知機能(あらかじめ定めた検知範囲内に人物が侵入した場合、画像解析技術を活用し、異常検知信号を画像監視センターへ自動で通知する機能)により、異常が認められた場合に、警備員が異常個所へ迅速に駆けつけるなどの対応をするサービスです。これにより、侵入を制限している箇所や、夜間時に人の立ち入りを禁止している箇所において、さらなる警備レベルの向上を図ることができます。また、オプションサービスとして、現地に対する遠隔操作による音声威嚇や、現地と相互通話する機能を追加することもできます。

以上